



NO.872

2012.6.24

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F四三二四四五七

国保料が引き上げ!

網走市は、平成24年度国民健康保険料の料率を変更しました。

平成24年度網走市国民健康保険料の料率

区分	平成24年度	平成23年度	備考	
医療分	所得割	6.70%	6.60% +0.10%	
	資産割	34.0%	34.0%	据え置く
	均等割	29,800円	28,500円	+1,300円
	平等割	27,000円	26,500円	+500円
支援分	所得割	1.50%	1.00%	+0.50%
	資産割	6.00%	6.00%	据え置く
	均等割	7,200円	5,200円	+2,000円
	平等割	6,000円	5,400円	+600円
介護分	所得割	2.00%	1.70%	+0.30%
	資産割	7.50%	7.50%	据え置く
	均等割	13,400円	12,200円	+1,200円
	平等割	6,900円	6,500円	+400円

(参考)

区分	平成24年度	平成23年度	備考	
介護なし世帯	所得割	8.20%	7.60%	+0.60%
	資産割	40.0%	40.0%	据え置く
	均等割	37,000円	33,700円	+3,300円
	平等割	33,000円	31,900円	+1,100円
介護あり世帯	所得割	10.20%	9.30%	+0.90%
	資産割	47.50%	47.50%	据え置く
	均等割	50,400円	45,900円	+4,500円
	平等割	39,900円	38,400円	+1,500円

※平成24年4月1日改定

保険料引き上げの理由として、平成23年度の医療費が、医療分2700万円、後期高齢者医療支援分4100万円、介護保険分1400万円が不足したためと報告がありました。

昨年6月議会ですべて平均4200円引き下げましたが、今回の保険料引き上げにより平均で世帯当たり4265円、一人当たり2528円の引き上げになりました。

住宅用太陽光発電システム設置補助金が追加補正に

網走市は21日、第2回定例会追加議案として、地球温暖化対策事業、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助金として2百25万円を追加するとの提案がありました。

その理由は、当初予算で25件分2百25万円を予算化していましたが、福島原発の影響で原発に頼らない社会をめざす意識の変化や国の本年7月からの再生可能エネルギー特別措置法に基づく固定価格買い取り制度ができたこと

の要因で、6月1日の受付開始直後に予定数を上回る申請があつたため、新たに25件分を追加して提案されました。

21日の一般質問と委員会報告と討論の後、追加提案があり生活・福祉委員会に付託され審査の結果、全会一致で了承され、本会議に委員会から報告があり、全会一致で議決されました。

消費税増税密室合意に怒りが広がっています

民主、自民、公明3党の消費税増税密室合意に怒りが広がっています。今回の合意で決まったのは消費税を2014年に8%、2015年に10%にすることです。

民意に背く消費税増税に突っ走る野田首相の最大の応援団と化したのは、ついこの前まで国会の場で対決しているふりをしていた自民党と公明党です。

「われわれは大きな骨の部分で、民主党の提案を受けている。10%で上げてもいいよ、税率を上げるのは2段階でいいよといっている」。

3党協議の実務者を務めた自民党の町村信孝氏がそう語ったように、自民党は最初から消費税増税ありきでした。もともと「消費税10%」は自民党の政策であつて、野田内閣が自民党案を丸呑みしたからです。

引き換えに民主党に突きつけたのが、社会保障の題改悪です。残ったものは消費税の増税だけ、密室談合で決めていいのかと言いたい。

オウム真理教で指名手配中の容疑者が捕まるといってテレビで大捕物報道の中、都内のホテルの一室で民主、自民、公明の3党が消費税増税・社会保障削減、切り捨ての政策で一致し、数の力で押し通す方向がまとまりました。

与党と野党が時間をかけて国会で審議する事なく決めるやり方を「談合」と言わず、何というのか。もともと、消費税増税と社会保障切り捨てで3党は差異はなく、国会解散するか否かの政局絡みで対立を演出していただけに「談合」のスピードも早い。

先週号で書いた地方税法の改悪も昨年の国会で水面下で3党で合意して押し切った。さらに、民主党が野党時代公約してきた「納税者権利憲章」の制定でも3党で密室協議したあげく、納税者の権利保障に資する条項はすべて削除され、納税者の義務強化が残るといふ最悪の結果で合意されました。

法人税の3%を引き上げる増税の実際は、3年間2%で減税5%をあわせると大幅な減税です。これも「3党合意」!「3党は合併して国民の信を問え」と言いたくなりませんか。

流水

今年も「やぎりのわたし」とさんと会えた。パークゴルフの大会でのことである。「やぎりのわたし」さんとは二十代の頃から同じ職業の関係で野球の試合などで知り合った。

私より数才年上のはずで、当時からユーモアに溢れ、朝歯ブラシをくわえてグラウンドに現れ「やあ、夕べ飲みすぎた!」などと、豪快な人でもあった。その人は労働運動にも高い見識を持っていて、私はずいぶん影響を受けたし、尊敬もしている人でもある▼昨年、パークゴルフの大会で数年ぶりで再会し「やあ、やあ...」となつただけど、その時の話には何とも驚いてしまった。元氣そうに見えたのだけれど、病に取りつかれ何度も何カ所も手術せざるを得なかったというのである。「八カ所も切つてしまった」「なんとか助かって生きてるわ」「だから自分のことを『八切りの私』と言っているんだよ、ハハハ...」思わずつられて笑ってしまったが、その人の名前は「八木」さん。「矢切りの渡し」をもじつた冗談でいかにも「八木」さんらしいユーモアではあるけれど...▼今年もまた会うことができた。相変わらず明るく元氣そうで、とて嬉しかった。八木さんを見ていると、病気で苦しむ人も勇気づけられる、自分もめげてはいられない、明るく生きようと思いがわいてくる...そう思つて、これを書いている。▼八木さんとは、全道労連議長などを歴任し、平和と生命・暮らしを守る運動の先頭に立つ「知る人ぞ知る」人である。だからこそその生き方だと改めて尊敬の念を強くした再会であった。来年も又、パークゴルフの大会で会えることを楽しみにしている。(〇)